

『西国立志編』の逆字順二字漢語 (二)

鈴木 丹士郎
専修大学名誉教授

一

前稿(『西国立志編』の逆字順二字漢語『国語学研究』50(『国語学研究』刊行会二〇一一・三)。以下、前稿と
言うときはこの論文をさす)で、中村正直訳『西国立志編』(明治四年一八七一刊)を主たる対象として、シノニ
ムの関係にある逆字順二字漢語のセットについて語例とその用例の提示を試みた。前稿公表後、『西国立志編』を
はじめ、中村正直の他の著述や文献についても点検をしておしたり、調査を進めたりしているうちにあらたな語例
をかなり見出すことができた。

本稿ではあらたに見出した逆字順語(たとえば、AB「愛恋」・BA「恋愛」)のセットとその用例を示すことを
主とし、さらに若干の考察を加えた。

逆字順語のセットについては前稿と同様語例が『西国立志編』にAB、BAともにとめられる場合だけでなく、
AB、BAのいずれか一方しか『西国立志編』にみとめられなくても中村正直の他の著述や中村正直がかかわった

文献（共訳、序文等）に見出せる場合はとりあげることにした。その際は掲出の語例に「▽」を付した。なお、用例の提示にあたっては例文を省略し、出典名と所在を示すにとどめた場合もある。出典名は『西国立志編』は西国、『自由之理』（明治五年刊）は自由、『西洋品行論』（明治一〜一三年刊）は品行、と略称した。

『西国立志編』の底本は全八冊からなり、奥附に「六書房蔵版」とある和装本である（なお第一編までの本文影印（60%に縮小）と語彙索引は『専修国文』69 71 72 74 78 80 83 84 85 87 89 90 91号に掲載）。『自由之理』は「同人社蔵版」全四冊、『西洋品行論』は奥附に「繚訳并出版人東京小石川町一六番地中村正直」とある全一二冊の和装本にそれぞれよった。さらに「敬天愛人説」（明治元年）と「報償論」（明治二年）は大久保利謙編『明治啓蒙思想集』（明治文学全集3）所収のものにより、中村正直・村田文夫・鈴木唯一合訳の『英国律法要訣』（明治一三年）は日本立法資料全集別巻363（信山社復刻版、平成一七年）により、『明六雜誌』（明治七〜八年）は復刻版（大空社、一九九八年）によった。

用例は、漢字は今日通行の字体に、合字は通行の仮名に改めた場合が多い。また、圈点や傍線（一、〳）は省いたが、振り仮名は（右がわ、左がわとも）底本のままにした。句読点（『西国立志編』『自由之理』は「・」、「、『西洋品行論』は「。」）は、適宜「、」と「。」に改めた。用例出典の終わりの「オ、ウ」は丁付で表、裏の略である。

二 — (1)

▽ 愛敬

牧師ノ有徳ナル生涯ハ、他人ノ観ル者ヲシテ愛敬ノ念ヲ起サシメ、之ヲ学ビ似セン」ヲ願ハシム。（品
ケウハフシ
行三・二二18オ）

薄士ボス空カラノ潤孫ジュンソンノ伝ヲ作りシハ、実ニ潤孫ヲ真心ニ称賛シ愛敬スルノ心ヨリ、コノ極善ナル書ヲ著ハセリ。

(品行三・四〇31オ)

敬愛

虔潔ト云ヒ、安静ト云ヒ、真正ト云ヒ、善ク人倫ニ交ハルト云ヒ、皇天上帝ヲ敬愛スルト云フ、コレ等ノ衆徳、ミナ自敬スルヨリシテ崇スルナリ。(西国二一・二二18オ)

花氏ホテネル僅ニ三十八歳ニシテ没セリ。ソノ衆人ニ敬愛セラル、一、特ニ深く、信服セラル、一、甚ダ大イナリ。(西国二三・二三3オ) / 品行三・四〇31オ

愛恋[▽]

少年ノ人ヲ教ヘ諭シ、ソレヲシテ智慮アリテ愛恋セシムルハ、能シ難キノ事ナルベケレドモ(品行一・八9ウ)

恋愛

蓋シ尊敬欣慕スル心ヨリ発スル愛恋ノ情ハ品行ヲ崇高ニシ清潔ニスルノ功用アリ。(品行一一・九11オ)
李嘗テ村中ノ少女ヲ見テ、深ク恋愛シ、ソノ家ニ往キタルニ(西国二一・二二13オ)

人ニ恋愛ノ情アルハ、天命ノ性ナリ。コレアルガ故ニ、コノ世界、常ニ新鮮ヲ保チ、夭好ヲ失ハザルナリ。(品行一一・九10ウ)

印刷

然ルニソノ火爐チムネヒトス眉ヒキヒトシロクノ上ヲ見レバ、大イナル印刷サツノ画アリテ、補鞋クツサワシ工房中ノ景ノ描ガケルモノアリ。(西国二二・九10オ)

或ル時、ソノ印刷者及ビ出売ノ書商、破産スルアツテ、斯格的モ亦亡ビントスル旦夕ニ在リ。(品行六・四七40オ)

刷印[▽]

国王ノ用達活板師之ヲ刷印シタル上之ヲ頒布ス。(中村正直・村田文夫・鈴木唯一合訳 英国律法要訣一・五)

壊敗

コノ德行ヲ修ムルノ目的ナクシテ、特ニ才能ヲ重シズル一、習フテ風俗ヲ成ストキハ、人心ノ壊敗、世道ノ

衰退、コレヨリ甚シキハナシ。(西国一一・一九16ウ)

▽敗壞
ソノ妄説ヲ唱フト云フハ、コレヲ訟フルモノニ、少年ノ人ノ心ヲ壞敗ストイハレタリ。(自由二・12オ)
人ノ性ハ、原来敗壞シタルモノナレバ、自ラソノ本性ヲ滅絶セザレバ、罪ヲ贖ナフベキ所以ノ道ナシ。

(自由三・12ウ)

回復
財多キハ、品行ヲ敗壞シ降黜スル所以ノ原由トナル「毎ニ多シ。(品行一・一〇9オ)
瑞典ヨリ攻メ襲ハレシ疲弊モ、コレニヨリテ、稍々回復シタリケリ。(西国三・三11オ)

人ニ欺負セラレ、人ニ損害セラル、モノハ、苟クモ己レノ罪ニ非レバ、回復セザル「ナシ。(西国一〇・九9オ)

高岡ニ登リテ、昔ソノ所有ナリシ田園ヲ眺望セシ後、暫時ノ間地ニ坐シテ思慮シ、忽チコレヲ回復セ
ント志ヲ發シ(西国一〇・二二20オ)

▽復回
復ニ回スル正教ニノ事、路傍ヨリ以前ニ、二十回バカリ発動セシガ、尽ク皆廢滅セラレタリ。(自由二・

16ウ)

愉快
コノ母ハ、其兒子ノ為ニハ教師ナリ。又愉快ナル伴侣ナリ。(品行二・四二32ウ)

愉快
亜歴西士ト談話セルモノ、中ニ、ソノ最モ愉快ナルモノハ、乃チソノ最モ緊要ナルモノナリ。(西国一

・三二30ウ)

瑕疵
世人事務ヲ為テ失敗スルモノ、往々自己ニ一点ノ瑕疵ナク、特ニ他人ノ為ニ損害ヲ受タルガ如クニ、粉飾

シテコレヲ言フモノアリ。(西国九・一〇7オ)

大人ノ品行ノ中ニ瑕疵アルヲ發出スルヲ以テ専務トナス人アリ。(品行三・四四34ウ)

疵瑕

畢竟一心双眼、ソノ智識ノ在ル処ヲ看出シ、活潑ナル才筆ヲ揮ヒタル者ナレバ、少々ノ疵瑕シキズ、ソノ全体ノ美ヲ損スルニ足ズ(品行三・四〇31ウ)

凡ソ英才ノ人ハ、多ク儀容ヲ欠キ疵瑕アルモノナリ。然レドモ、英才ヲ以テ、ソノ短処ヲ蔽オホフベシ。(品行九・七6ウ)

平滑

及福徳ハ、補鞋工ノ徒弟タリシ時ニ、革ノ小屑ヲ打テ平滑ニシ、ソノ上ニ箒学ノ問題ヲ始メテ作レリ。(西国五・一二9ウ)

自己ヲ制治スルト、他人ヲ寛免スルト、コノ二者ハ、人生ノ道路ヲ平滑ニシ、進ミ行クニ宜シカラシムルモノナリ。(品行六・一二9ウ)

平滑

カレンテリングマシーン毎ヲ研キ平滑光沢ナラシムル円筒形ノ器ナリ(西国二・一一11ウ) *原文は a calendering machine

譬ヘバナイアガラ瀑ノ雄偉奔放ナルヲ患ヒ、ソレヲシテ和蘭水道ノ平滑ナルガ如クナラシメント欲スルニ似タリ。(自由三・18オ)

蓋シ文雅平滑ナルハ、己ガ道路ヨリ甚ダ遠ク、疎魯鹵莽ナルハ、改ムベカラズトシテ(品行九・三五33オ)

患苦

彌爾敦亦許多ノ試煉患苦ヲ歴ルト雖ドモ、快活ニシテ事物ニ屈撓セラレザル人ナリ。(品行八・一一8ウ)

凡ソ人、誰ニテモ、患苦ニ遇ヒシ時ハ、婦人ヲ喚ビ、ソノ歎息ヲ彼ニ訴フルナリ。(品行一一・五6オ)

且ツ勉強勞苦ハ、独り人ノ尽スベキノ職分ナルノミナラズ、亦人ノ消受スベキノ福慶ナリ。特ニ懶惰ノ人ノミ、コレヲ以テ患苦ト思ヘリ。(西国二・二2オ)

憂愁苦患ノ中ニ在テハ、勇剛ヲ養ヒ、見識ヲ蓄ヘ、實際絶好ノ學問ヲ得ルナリ。(品行八・三三オ)

寒 互 ソノ氣候寒互粗惡ニシテ而モ變ジ易ク(西国一一・三三30ウ)

互 寒 余嘗テ斯ノ世ノ人ヲ、互寒ノ地ニ行旅スルモノニ比喩シタリ。(西国一・三二30ウ)

互寒ノ地ハ、物産少ケレドモ、人体ヲ勇強ニス(報償論相損益)

觀 察 平生試験觀察ニ由テ得タル學識ヲ、尽ク戯曲ニ顯ハセリ。(西国一・一二11オ)

俄羅斯ノ諺ニ、「彼人ハ樹林ノ中ニ行ケドモ、薪ヲ見ズ」ト云ヘルハ、觀察スルナリヲ解セザル一種ノ人ヲ

指シテ言ヘルモノナリ。(西国五・四3オ)

察 觀 即チ人民職業ノ相釣り合フトコロノ次序ヲ普ク察觀センナリヲ要ス(西学一斑・五(中村正直訳)、明六

雜誌・一六号)

君ハ殆ド全世界ノ情状ヲ察觀セラレシナラン。(品行四・四5オ)

官 長 人生ノ職事ヲ荷ニ及シテ、学校ノ同輩多人ヲ超過シテ、首位ニ近ツクナリ得。ソノ後遂ニソノ故郷ナル地

方ノ官長トナレリ。(西国二一・四二44ウ)

長 官 敵ノ長官ノ深キ金創ヲ療治シ、コレヲ愈シケレバ、贖金ナク赦サレテ巴理ニ歸リケリ。(西国五・二九21

オ)

二 (2)

危 險 禮亞德二十二歳ノ時、東方ニ行旅シ、歐法拉得ノ外、前人ノ未ダ至ラザル地ヲ探ラント志シ、艱難ヲ冒

シ、危険ヲ凌ギ(西国四・一五11ウ)

暗愚ニシテ怠惰ナル人ハ、勞苦危険ノ光景ヲ見テ、震慄退縮スルユエ（西国一・〇1オ）

△**険危** 嘉麥延斯屢^{カモツスス}険危^{ケンキ}ヲ犯^{オカ}シ、薄命不幸ノ事、多カリシ中ニ、破船ノ難ニ逢^{アリヤホヒ}ヒ（品行一二・一四23オ）

△**偽詐** 貿易売買ノ事ハ、其他ノ職務ニ比スレバ、最モ人ノ品行ヲ試ムルモノナリ。…（略）…公平ナルト、自ラ

私^シスルト、誠実ナルト、偽詐ナルトハ、コレニ由リテ、明白ニ呈露セリ。（西国九・二九26オ）

△**詐偽** オアリ徳アルノ人ニシテ、来世ヲ信ゼザルノ人、少ナカラズ。サレバ来世ヲ信ゼザルモノヲ、尽ク詐偽

ノ人トナスベキ理ナシ。（自由二・20オ）

譏刺 戎孫^{ジロソン}コノ譏刺ノ言ニ答^{コタ}ヘテ曰ク（西国一・一三13オ）

放逸無^キレ度ノ議論、即チ罵詈譏刺ノ語ヲ用フル^{コト}ヲ、双方相^ヒ互^ヒニ戒シメ禁ズルハ、当然ノ事ナリ。（自

由二・58オ）

刺譏 ^{パリス}巴理新聞紙ノ中ニ、諧諷刺譏ノ語ヲ加ヘ、グラランド・ヤーペラ^{大敵}ノ争ヒヲ止メンガ為メニ（西国九・二四

17ウ）

△**跪拜** 上帝ヲ信ズル人トナリシ所以ハ、幼年ノ時、母常ニ吾ガ纖手ヲ把^{トツ}テ、吾ヲシテ跪拜セシメテ、吾ガ父在^リ

天ニ云々ト禱^{イノ}リシ^{ナホレキ}声^{ナホレキ}音^{ナホレキ}状態、今尚歴々トシテ臆ニ存スレバナリ。（品行二・二二18ウ）

拜跪 シイザリスムハ、極劣ノ神像ナリ。ソレコレヲ拜跪スルモノハ、特ニソノ勢力ヲ怕^ワル、ノミ。（西国一

・五5ウ）

余ハ、天父ヨリ受シコノ痛棒ヲ拜跪スルヲ務メザルベカラズ。（品行一一・三三39オ）

儀容 人民百般ノ儀容姿態ヲ熟察シ、コレヲ描写シ、粉本ヲ蓄^{ホウ}ル^{コト}ヲ務メ（西国六・一一9オ）

儀容ハ、品行ノ外面ニ顯ハル、文飾ナリ。（品行九・一一ウ）

容儀

抑モ吾ガ品行ノ外ニ顕ハレ、他人ニ接スルノ顔色容儀ハ、決シテ忽ニスベカラズ。(西国一三・一五13ウ)
人或ハ以為ラク、容儀ハ、瑣細ナル事ニテ、緊要ナルモノニ非ズト(品行九・一1ウ)

強剛

人ノ品行ヲ支柱スル者ハ、他物ヲ仮ルニ非ズ。自己ノ強剛ナル作事ニ在ルノミ。(品行五・一八20ウ)
蓋シ氣力ノ強剛ナルハ、人ヲシテ実地練習ノ才ヲ長ゼシムルモノナリ。(品行五・三五36オ)

剛強

最モ良善ナル人、及ヒ最モ剛強ナル人常ニ他人ヨリ助ケヲ得タルヲ、最モ速ニ招認スルヲナリ。(西国一・三二30オ)

伯路塞一ミニユートノ暇トイヘドモ、空シク過スナシ。并ビニ、ソノ身体剛強ニシテ、鉄ノ如シ。(西

国一・二九27オ) / 品行一・三六29オ

居住

年二十三ニ及ンデ、洋海ノ職ヲ休メテ、海浜ニ居住ヲ定ケルガ(西国一・二二21オ)
新ラシキ国土ニ居住スル人ヲ論ゼンニ、上帝ヲ信ズル一箇ノ人ハ、品行ノナキ百人ニ値レリ。(品行

三・二〇16ウ)

住居

コノ工業ヲ始メ、ソノ兄弟親戚ニ教ヘ、数年ノ間、コ、ニ住居シタリ。(西国二・二二13オ)
カクノ如キ伝記行状中ノ人ヲ友トシ、ソノ儀範ヲ學ブハ、極善ノ人ト共ニ住居シ、極善ノ会社ニ混合

スルト、何ヲ以テ異ナランヤ。(品行一・七10ウ)

苦辛

英人一箇ノ家ヲ持タント欲スル為ニハ、森渺タル洋海ヲ渡ルノ艱危ヲ事トモセズ、身ヲ草莽ノ上霜雪ノ
中ニ置テ憚ラズ。カク苦辛シテ一家ヲ樹立スルヲナリ。(品行九・三九36ウ)

辛苦

縦ヒ何ホド辛苦ヲ積ムトモ、コレヲ成就セシムルヲ期セリ。(西国五・二七19オ)
黒爾舌久シク辛苦シテ燃心五尺ノ遠鏡ヲ造リテ成就シケレバ、コレヲ以テ土星ノ環ト、ソノ衛星ヲ察測ス

ル「ヲ得タリ。(西国五・三四27オ)

具備

顕微鏡ニ非レバ見ラルベカラザル小虫ニテモ、完全具備セザルハナシ、目アリ、耳アリ、口アリ、鼻アリ(報償論天地万物同一体物)

備具

我今日華屋ノ中ニ坐シ、百度備具、身心安寧ナルヲ覺ユト雖ドモ(西国一一・三五35オ)

創造者ノ必要ナルヲ深ク知リタランニハ、世間事物ノ未ダ備具セザルモノ限リナク、吾ガ輩知見ノ至ルト

コロ甚ダ少ナキヲ認ムベキナリ。(自由三・19オ) / 品行四・四二33ウ

藝術

伯路寒ブルハムノ強勉ニシテ倦ム「ナキハ、世人ノ遍ク知ルトコロナリ。ソノ公務ニ勤勞スル「、六十年ニ過キタリ。ソノ間、或ハ、法律或ハ政事、或ハ藝術ニ従事シ、何レモ卓然衆ニ超ズコエトイフ「ナシ。(西国一・二九27オ)

27オ)

術藝

聰明才智ヲ養成發達スル所以ノ規法及ビ藝術ハ、固ヨリ等閑シテ擱置スベキニ非ズ。(品行一・八6ウ) 力査リヤウ・窩蘊ワウオンハ、(略)：十年ノ間、医科学校ニアリテ、戎オホササ・翰他ハンダノ集メタル、宇宙万物及ビ術藝器物ノ目錄ヲ編著セルニ由リテ、ソノ博學ノ基ヲ造シトイヘリ。(西国一・一六16オ)

人固ニ術藝ニ長ジ文学ニ富ミ、而メソノ忠厚信実ノ徳、及ビ本分ヲ務ムル精神ニ至ツテハ、無学極貧ナル佃農ニダモ及バザル者アリ。(品行一・八7ウ)

潔清

法蘭西最初ノ変乱ハ、人民社会ノ凶猾オホカウツヨリ生ズル顕証トイフベク、而メ其源ハ、婦人ノ性行ヲ潔清ニスル「ニ注意セザリシ怠慢ニ由レルナリ。(品行二・五七46ウ)

ソノ自ら己オレヲ行フニ於テハ、心事明白ニシテ、德行潔清ナル、青天白日ノ如クナリ(品行五・三八38ウ)

清潔

ソノ身ヲ修ムル「清潔ニシテ、ソノ事ヲ行フ「ハ公道ナリ。(西国一三・四一35オ)

品行ヲ支柱シ墜ザラシムル者ハ慣習ナリ。故ニ心思ヲ清潔ニシ、言行ヲ敬慎スル如キノ美德ヲ以テ慣習ト為スベシ。(品行六・三三才)

權勢 蓋シモト人ニ定マリタル貴賤尊卑ノ種別ナシ。故ニ權勢アル家時ニ衰微シ、卑賤ノ人、時ニ顯達ス。(西

国七・一才)

コノ自由ト、仲間会社ノ權勢管又曰トノ間ニ、程ヨキ調理出来ヌベキ「難カラザルベシ。(自由三・三ウ)

／報償論不問儀難一

勢權 尋常ノ田舎漢ハ、勢權位地ヲタゞ羨慕スベキ者トノミ思ヘリ(報償論高尚之行以非常)

減損 減損 資性ヲ欠トキハ、絶大華麗ナル天賦ノ才能モ、之ガ為ニ大ニ其価ヲ減損スル。(品行一・二二一八才)

損減 然レドモ、織機ノ功用ハ、コレガ為ニ損減セラレズ。(西国二・一四二一ウ)

コレハ人ノ德行ノ害トハナラヌ「ユエ、意見ノ償ハ、コレガ為ニ損減セザルベシトイフベシ。(自由二

・35才)

好慕 嗚呼コレゾ少年ノ熱心好慕ヨリ出ツル真正ノ感触トハ云フベキ。(西国二・一二一四ウ)

慕好 公氏ノ誅文ヲ讀ムゴトニ、心胸跳動セザル「ナシ。コレ嘆美ニ由ルヤ。慕好ニ由ルヤ。望ミヲ失フニ由ルヤ。

(西国二・一七18才)

二
—
(3)

摧破 且ツコノ機器ヲ用フル工場ハ、多クハ市井ヲ離ル、荒僻ノ地ニアリシカバ、コレヲ摧破スル「甚ダ易カリ

シナリ。(西国二・二三17才)

破碎

ソノ妻ソノ夫ノ勞シテ功ナク、徒ニ財ト時トヲ費^ヒテ見テ、懊惱^{アウノウウ}ニ堪ズ、一日怒リニ乗ジ、機器^{キカ}ノ様子^{ヒサガタ}ヲ破碎^{クダクダ}シケレバ（西国二・一〇9ウ）

抑モ欺騙強迫等ニ由リテ得タル金錢ハ、水泡^{ミツバズ}ノ如ク、十分ニ澎漲スレバ、忽チ^{フクワズ}ニ破碎スベシ。（西国九・三〇27ウ）

災厄

巴律西既ニ名工ト称セラル、後、甚シキ災厄^{ヤク}ヲ受ケタリ。（西国三・二6ウ）

活信ノ人ハ、コレ等ノ法語ヲ信ジ、日用実行ノ上ニ行ヒ出シ、凶禍災厄ニ逢フト雖ドモ、コレガ為ニ擾累^{ヤウライ}セラレズ。（自由二・39オ）／品行二・二520ウ

厄災

受^レ窮苦^ニ而不^レ憂。跌^ニ功名^ニ而不^レ沮。雖^ト被^レ禍害^ニ受^レ厄災^上。而快樂之心。不^レ為^ニ少ク損^セ。（敬天愛人說・下）

式樣

心力ヲ尽シテ、雕像ヲ学ビ、古像ニ倣ヒ、式樣ヲ作りテ過活ヲ為セリ。（西国六・一二14ウ）

善キ画工トナラント欲スル者ハ、極善絶妙ナル画^{グワ}図^トヲ前^スニ置^キ、ソノ式樣ニ倣ヒ、筆画ヲ施スヨリ外ハアラズ。（品行三・1ウ）

樣式

常ニ汚辱ナル人ノ樣式ヲ見慣レ、下流ナル人ノ集会ニ伍スルモノハ、自ラソレト化シテ、同氣一体トナル^ルヲ免^ズザルベキナリ。（西国二・一〇12ウ）

資性

中等ノ資性ヲ具^{フル}ル人ト雖ドモ、勉強シテ心ヲ用ヒ、勞力シテ倦ム^ナケレバ、許多ノ事業ヲ成就スベキ^キヲ證知スベキナリ。（西国一・二八26オ）

抑モ性情和平ニシテ怒ラザル^ハ瑣細^{サカサカ}ナル資性ノ如シト雖ドモ、コノ資性ヲ欠トキハ、絶大華麗ナル天赋ノ才能モ、之ガ為ニ大^クニ其価ヲ減損スルモノナリ。（品行一・二二18オ）

性資[▽]

堪寧^{カシニシヤ}心ヲ委^{ユヅ}ネ愛ヲ極メテ、其母ニ親附シ、終身改^クタメズ。之ヲ以テ觀ルトキハ、其母堪寧^{カシニシヤ}ヲ感動命令スル非常ノ性資ヲ具ヘシ^レ見ユ。(品行二・三九30ウ)

失亡

汝宜シク残^ノレルトコロノ碎屑ヲ集ムベシ。一モ失亡スルモノアル^レ勿レト云ヘリ。(西国一〇・六七オ)
 條例ノ最モ古クシテ今ニ存シテ條例律法書ニ載スル者ハ大約書ナリ 是ヨリ以前ニ許多律法ノ條例アリシ^レハ疑ヒナケレドモ其記録失亡シ其中ノ訓言ハ次第二通常ノ律法ノ中ニ入りタリ(英國律法要訣一・一)

亡失

カクノ如キモノハ、方寸ノ中ニ鐫録シ、深ク肝脾ニ入^ルナレバ、久シキヲ經ルトモ、タ^ラ亡失セザルノミナラズ、益々勢力ヲ増シ添^フル^レナリ。(西国一一・一一ウ)

柔軟

巴禮^{パレイ}モ始ハ旧法ニ從テ創痍ノ人ヲ療シケルガ、一日油ヲ煎^ル十分ナラズシテ、柔軟ノ作用ヲナシタリ。(西国五・二九20ウ)

且ッ人ニ對シテ、己ガ議論ヲ述^ルベ意見ヲ語^ルニハ、極メテ温和、極メテ柔軟ナルベシ。(西国一三・一九17ウ)

亞爾白^{アルハイト}の避^サケ臆^カスルハ、至^ツテ柔軟ナル性ニ發セリ。(品行九・三三29オ)

軟柔

且ッソノ為^ス所ノ大事業ハ、決シテ尋常温厚軟柔^{ヤハラカ}ヲ以テ、成就スベキニ非ズ(品行九・二四20ウ)

首唱

革斯里^{ガズリ}ハ、貧家子女ノ為^メニ義学ヲ興セシ首唱ノ人ナリ。(西国一二・八9ウ)

教法脩身經濟格致医療等諸学ニ於テ今日有形無形ノ大利益大惠沢トナレル者ハ必ズ之ヲ首唱スル人アリソノ之ヲ首唱スルノ時ニ當テハ或ハ国王ニ抗シ一世ヲ敵ニ受ケ或ハ衆人ニ毀ラレ(賞罰毀譽論(中村正直)、明六雜誌・三七号)

唱首

然レドモソノ唱首ニシテ且ツ最モ剛毅忍耐ナルハ、沙伯ナリ。（西国八・二六25オ） *二六章のタイトル

は「額蘭未爾。沙伯黑奴売買ノ」ヲ禁止スル事」とある。

熟練

画工ニテモ、文人ニテモ、善ク視察スル眼目ヲ具ヘ、及ビ熟練シタル手ヲ有セザルベカラズ。（品行一

〇・二一24ウ）

書友ノ心、ソノ智識アル「、我ニ勝リ、熟練スル」、我ニ愈レリ。（品行一〇・二七34ウ）

練熟

空林登立ツトコロノ軍法、完全ヲ極メ、ソノ軍需ノ物ヲ備給スル「、智謀アリテ、善ク練熟セリ。（西国

九・二六20オ）

蓋シ我ト力ヲ角スルモノハ、我ガ精神ヲ強クシ、我ガ練熟ヲ助クルモノナリ。（西国一一・三二29ウ）

生存

巴禮コノ夜ノ慘禍ヲ免カレシ後、久シク生存シ、榮名ヲ享テ、天年ヲ終タリ。（西国五・二九21ウ）

英史ノ中、コノ印度ノ一卷ハ、怕ルベキ高価ヲ以テ購ヒ得タリ。然レドモ、コノ乱後生存スル人、及ビ

後人ノ為ニ、善教トナリ模範トナル「ノ利益、甚ダ大ナレバ（西国八・二〇16ウ）

存生

其母専力勉強ノ恩賞トシテ、存生ノ中ニ、其兒子ノ皆能成立シ榮耀ナル地位ヲ占メ（品行二・三四28

オ）

成長

人ノ勢力ハ柔弱ヨリシテ成長スルモノナリ、柔弱ニシテ人ニ侮ラレ怒リヲ生ジ、コノ奮激ノ心ニ刺戟セ

ラレテ漸クニ勢力ヲ増スニ至ルモノナリ（報償論人志進勢）

長成

幼少ノ時聰明伶俐ナリトモ、コレヲ以テ後來長成スル後、果メ遠大ノ業ヲ成メヤ否ヤ、料リ知リガタシ。（西

国一一・四〇4ウ）

制抑

徳善上ノ自主ヲ保チ、禽獸ノ域ニ入ルヲ免レンニハ、肉体ヨリ発動スル情欲ヲ制抑セザルベカラズ（品

行六・一2オ)

抑制

節儉ハ、マタ目前肉体ノ嗜好ヲ抑制シテ、後來ノ善事ヲ保存セント欲スルモノヲ、指シテ言ヘルモノナレバ(西国一〇・七七オ)

培氏ボルンスハ、口腹ノ欲ヲ抑制スル能ハズ、其ヲシテ放縱ハウシヨウナラシムルニ任セタリ。(品行六・四一34ウ)

節廉

平生ノ為スルトコロ、正直、忠厚、節廉ニシテ、他人ノ儀表トナレバ(西国一・八8オ)

ソノ行為ハ職分ヲ尽シ真実ニシテ毅然キタル大丈夫ノ氣象アリ。ソノ生涯ヲ做ナスニ忠厚節廉ニシテ正直ナリ。(品行一・五九48ウ)

廉節

蓋シ情理ニ通ズル人ハ、謙讓ニシテ誇大ナラズ、廉節ニシテ驕矜ナラズ(品行九・一一8ウ)

説話

花氏ハナネルハ、弁論ノ士ノ或ハ人ヲ驚嚇オドロカスシ、或ハ人ヲ挑唆イヒシヨクスル如キナシ。ソノ説話穩静ニシテ、滋味アルノミ。(西国一三・二13ウ)

昔シ言シモノ、思ヒシモノ、今マ紙上ニ活現シ、読ム者ヲシテ、ソノ説話ヲ聴ガ如キノ想ヲ為シム。(品行一〇・三4ウ)

話説

托馬士トマス・萊的ライトノ罪人ヲ恵恤スルコトヲ以テ口頭ノ話説トナセシヲ聞カズ(西国一二・八9ウ)

学士潤孫ジュンソン曰ク、市街ノ人叢ニ在リテ、誰ニ限ラズ、我ハソノ人ノ履歷ノ話説ヲ聞知ント欲ス。(品行一〇・七9ウ)

善徳

蓋シ儉節ハ善徳ナリ。吝嗇ハ、悪行ニシテ、仁愛ノ心ヲ閉塞シ、寛大ノ量ヲ縮小ニスルモノナリ。(西

国一〇・二三21オ)

善人君子ニ接見スレバ、必ズ我ニ善徳ヲ分与フルコト、万ニ一ヲモ失ハズ。(西国一二・一一13オ)

徳善 シカシテソノ器物ノ精良ナルニ随ヒ、人心風俗モマタ徳善ノ道ニ進ミケルナリ。（西国三・四14オ）

内ニ徳善ノ心アレバ、外貌ハ何ヤウニテモ宜シトハ言フベカラズ。（西国一三・一八16ウ）

善美[▽] 若夫^{モト}レ品行ヲシテ善美純粹ノ域ニ至ラシメン「ヲ欲セバ、必シモ聰明才智ヲ要セザルナリ。（品行一・八

6ウ）

我願クハ足下ニ示スニ蘇格蘭^{スコットランド}人民ノ善美純朴ナル一端ヲ以テセン（品行一・五三43オ）

美善 他ノ風俗ノ美善ナルモノ、ソノ能ク人民ヲシテ觀感興起セシムル「ハ、律法ノ權力ニ比スレバ更ニ大ナ

リ。（西国一・二2ウ）

婦人ハ、柔弱ニシテ男子ニ依頼スルヲ以テ、美善ノ性質トナス。（品行一一・四4ウ）

二—(4)

藏貯 抑モコノ術藝機器守藏館ハ、人智ヲ極メシ百般精巧ノ機械ヲ藏貯セル処ナレバ（西国二・一四20オ）

善良ノ志念、及ビ學問見識ハ、別ニ藏貯スルトコロノ室ヲ要セズ。（西国九・二二14ウ）／品行二・四

四34ウ）

貯藏[▽] 智識アル人、及ビ剛猛ナル人ト友タレバ、必ズ吾^ガ品行ヲ造ル^{ツク}為^{タメ}ノ感化ヲ受ルヲ失ハズ。吾^ガ貯藏ヲ増シ、

吾^ガ主意ヲ強クシ（品行三・一三9ウ）

存貯 中等ノ資産ト雖下モ、儉節ナルモノハ、ソノ囊中、常ニ他人ヲ助ケルモノヲ存貯セリ。（西国一〇・九8

ウ）

歷山王馬色同ノ王位ニ昇リシ時、ソノ父ヨリ受シ土地ヲ、ソノ朋友ニ割キ与ヘシカバ、ペルヂツカス^{人名}

ノ「君自ニハ何ヲ存貯シ玉フト問ヘバ（品行八・三九30オ）

貯存[▽]

此等ノ人ノ行為及ビソノ思想ハ、過キ去リシ時代ヨリ、珍重貯存シタル遺物ナリ。（品行一・五〇40ウ）

対敵

林徳西^{リンドセイ}ハ、舟ヲ有ル有名ノ人ニシテ、近頃マデ、散埵^{サンデル}爾蘭^{ルズド}ノ民委官^{メムバア}ナリシガ、嘗テ政論対敵ノ党ヨリ林徳西^{ドセイ}ヲ誹謗シケル時（西国一・二二21オ）

平生我が為セシ些小^{シヤ}ノ善事ハ、極大ノ艱難ヲ以テ、極大ノ対敵ト、争ヒ戦カヒ、然ル後、纔^{ワズ}ニ做^ナシ得タルモノナリ。（品行五・六8ウ）

敵対[▽]

世上一般ニ流行スル意見ニ敵対シテ異説ヲ言フ人ノミヲバ、罵詈譏刺ヲ用フルヲ禁ジ（自由二・58オ）
社会ナルモノハ、知ズ覚ヘズ、党類ヲ成テ、独自一箇ノ人ニ敵対スル性質ヲ有テリ（品行五・二〇23オ）

対反[▽]

譬^ヘバ、一種ノ人アリテ、他人ヲ勸奨挑唆シ、コレニ由リテ、利ヲ得、生計ト做^ナスモノ、如キ、即チ政府ニテ悪事ト思ヘルモノヲ振興シ、公衆^{スス}ノ安寧^{オウテイ}ト思ヘルモノニ対反シ、コレヲ以テ、己ガ利益トスルナリ。

（自由五・8オ）

反対

シーザリスムノ一派ト、自助ノ説ト反対ナルコトヲ論ズ。（西国一・五5オ）* 五章のタイトトル
法国ノ一相臣、事務ヲ做^{オス}テ敏捷ナリシガ、亦常ニ戯台ニ往キ、屢々^{シク}歡樂ノ場ニ臨ミケリ。或^レ人

コレヲ怪シミ、何ニ由リテ、カ、ル反対セルニ事ヲ合セテ行^シフコトヲ得玉フヤト（西国九・一七11ウ）

貼附

突厥^{トルコ}ノ人、ソノ骨ヲ乞^ヒ得テ、各々一小屑ヲ心胸ニ貼^{ツク}附シ、カクシテ、ソノ剛勇ヲ分チ得ント思ヒシカバ（西国一二・一三15オ）

右名簿ノ副本ハ礼拝堂、小礼拝堂其外何レノ地ニ拘ハラス凡ソ礼拝ヲ行フ所ニハ皆貼附シ（英国律法要

訣二・六）

附貼 第三回ノ読上ケヲナシ尚ホ更ニ文句ヲ加フ可キ時ハ羊皮紙ノ切レニ書シ之ヲ議案ニ附貼ス之ヲ附紙ト名

ク（英国律法要訣一・五）

法律

伯路寒…（略）…法律或ハ政事、或ハ藝術ニ従事シ（西国一・二九26ウ）

海爾ハ、多年ノ間、毎日十六時法律ヲ学ビタリ。（西国五・二五17オ）

律法

他ノ風俗ノ美善ナルモノ、ソノ能ク人民ヲシテ觀感興起セシムルハ、律法ノ權力ニ比スレバ更ニ大ナ

リ。（西国一・二2ウ）

公侯議院ニ於テ、律法及ビ政事ノ議論アル時ニハ、必ズコレニ預カリシナリ。（西国一・二九27ウ）

三

二でとりあげた逆字順二字漢語のセットのいくつかについて補足や説明を手控ふうにな若干加えることにする。

1 「愛恋—恋愛」

『西洋品行論』一一編八章の主題は「男女恋愛ノ事ヲ論ズ」であり、そのためかこの章には「恋愛」の語が多くみとめられる。「愛恋」の三例（一例はサ変）もこの章に見出される。『西国立志編』の「深ク恋愛シ」は、原文は have fallen deeply in love with に対応するもので、直接には love に「恋愛」があたる。また、「愛恋」は『通俗忠義水滸伝』に、

潜カニ王慶ヲミルニ面白ク眉黒ク風流ノ年少ナレバハヤク愛恋ノコ、ロヲナス（拾遺六、奥附刊年は寛政二年—一七九〇）

のように見られる。さらに、李漢燮編『近代漢語研究文献目録』（東京堂出版、二〇一〇）には載せてないが、

2 「印刷—刷印」

「印刷」は用例にあげたように明治期にはインサツ・インセツの読み方があった（惣郷正明・飛田良文編『明治のことば辞典』（東京堂出版）。「刷」に訓「する」が生じた経緯については遠藤好英「近代文学と漢字」（佐藤喜代治編『漢字講座』9（明治書院）が参考になる。

柴田昌吉・子安峻の『補註英和字彙』（明治六年刊）には、

Printed, *a* 刷ハシカテ印シタル

Printer, *n* 刷ハシカテ印匠

Printing, *n* 刷印、刷印術

Impress, *vt* 押印イシヤス、推入オシユム、記号シヨウヲ附ツケル、刷印ハシカテスル

のように「刷印」がみとめられる。しかし、「刷印」のままでは分りにくく、やわらげてハンコウ（板行、版行）としたものと考えられる。しかし、緒言に、

之ヲ刷印スルニ許多ノ苦心ヲナセリ因テ刷印ノ器械ヲ外国ヨリ購シ訳成ルニ随テ之ヲ刷印シ

をはじめ、「刷印」がしばしば見られるが、緒言の性格からしてサツインと読んだものであろう。「刷印」の用例を引いた『英国律法要訣』（司法省蔵版、原名カピネット、ローヤル）は中村正直と村田文夫・鈴木唯一との共訳であるが、第二篇になると共訳者の中村・村田の名はなく、訳者は鈴木単独になっている。ちなみに第二篇には、

又原告ハ歎願書ノ刷印副本一通ヲ以テ

被告ハ原告ヨリ歎願書印刷ノ副本十通ヲ領スル権アリ

をはじめ、他の箇所にも「印刷」「刷印」ともみとめられることを言い添えておく。

3 「回復—復回」

「回復」は例文「西国一〇・二二」の左ルビにトリモドスとあるが、次のように「恢復」とも書く語と同じである。

哈氏七歳ノ時、偶々夏日ニ当リ、祖先ノ時、領スル地ヲ過ギテ流ル、川堤ニ坐シケルガ、コノ時ソノ心ニ何ニモシテ、コノ田産ヲ恢復セバヤト志念ヲ生ゼシト言ヒ伝フ。（西国八・一六11ウ）

また、『西国立志編』に、

卯格林大ニ勞働失望シテ病ヲ発シ、病院ニ入ラレ、命ヲ失フベシト思ヒシ程ナリ。然ルニ幸ニシテ快復シ（一・一八17ウ）

のように「快復」が見られる。

「快復」も本来は「回復」「恢復」と共通する意味であったが、次第にけがや病気がなおる意に限定して用いられるようになったものであろう。J・C・ヘボンの『和英語林集成』では、初版、再版では、快復の意味だけを示しているが、三版では「快復」(yoku naru)のほか別に見出しとして「恢復」(tori kaesu)を立てている。

4 「快愉—愉快」

今日是用いられない方の「快愉」が『辨音英和字彙』の緒言にみとめられる。

豈此書完備読者ヲシテ麻姑ヲ倩フノ快愉アラシムト言ンヤ

また、馬琴の『南総里見八犬伝』には「こころよし」「こころよげ」の熟字に用いられている例がある。

彼奴等がわが刀を、信乃が刃ならんと思ひて、十襲秘蔵するにこそ。これのみ快愉れども（三輯二七回）

姫うへはむつかり給はず、快愉こみよげに遊戯あそびれ、殊ことにこの日をはじめとして、物のいひざま尋常よめつねなる、三歳みつこ児にまし
て見えさせ給へば（肇輯八回）

5 「瑕疵—疵瑕」

『南総里見八犬伝』に「きずつく」の熟字に「瑕疵」が用いられている例がある。

締ぢも果はぬ妹いもと伏せの、浮名うきなを立て誠まことある、人の女児むすめに瑕疵きずつけでは、今さら親が許すとも、絶たえて合あする面おもてはなし。（肇輯七回）

6 「患苦—苦患」

「苦患」はふつう仏教語として用いられ、クゲン（ゲン）であるのに対して「患苦」はカ（クワ）ンクで読み方はちがうが、逆字順のセットとして扱った。

7 「譏刺—刺譏」

「刺譏」は『西洋品行論』に、

額アレイ禮ハ、有名ノ詩人ナリシモ、柔弱ニシテ婦人ニ似テ、隠蔽カクレルヲ嗜オシミ、人ヲ怕オウル、避ヘキアリ。然レドモノノ生平マヤ品行、更ニ訾シ譏キスベキモノナカリキ。（二・四三34才）

のように「訾譏」と書く例が見られる。「訾」は、そしる、非難する意で「刺譏」と同義の語である。また、『世説新語・文学』に、

左太冲作三都賦、初成、時人互有譏訾。思意不愜。

とあり、先にあげた『西洋品行論』の「訾譏」とは逆字順の「譏訾」が見られる。

8 「儀容—容儀」

『西洋品行論』第九編は「儀容ヲ論ズ」という内容で、四六章にわたって述べられているのでしばしば「儀容」の語が見られる。その中であつて「容儀」の方も用いられることがあつたと思われる。また、『西国立志編』一三編一七章には、

未采容儀ハ人生ノ光色ニシテ律法ニ比スレハ更ニ緊要ナリトス(15オ)

のように「未采容儀」の形で三例見られる。「未采」も、容貌、態度の意である。

9 「藝術」術藝

「藝術」は明治初期までは、わざ、技術、の意で用いられていた。中村正直も「人民ノ性質ヲ改造スル説」(明六雑誌・三〇号)ではこの意味で用いているが、例文に引いた「西国一・二九27オ」の「藝術」の箇所は“Self Help”の原文では、

His public labors have extended over a period of upwards of sixty years, during which he has ranged over many fields — of law, literature, politics, and science —

とあり、literatureを「藝術」と訳している。

また、「術藝」の方は、中村正直は律多留富勒曼校定『和独対訳字林』(明治一〇年刊)の序で、
 学問術藝。譬則庫中之宝物也。言語文字。譬則鑰匙也。

のように用いている。「術藝」は、学術・技術、の意であるが、例文「品行一・八7ウ」の方に「術藝ニ長ジ文学ニ富ミ」と用いているところを見ると「術藝」も技術の方に重点を置いた言い方であつたと思われる。

なお、『南総里見八犬伝』に、逃げた獺を捕獲した巧みなわざに「術藝」(八輯八九回)を用いているが、また「和殿の知慧術藝を嚮し」(同)のように「術」と「藝」の位置が逆の「術藝」の振り仮名は「げいじゆつ」とある。

引用は、濱田啓介校訂・新潮日本古典集成別巻の『南総里見八犬伝』（底本が国立国会図書館所蔵の馬琴の手沢本）によっているが、専修大学図書館所蔵向井信夫文庫の版本もこれと同様である。しかし、後者の例の「術藝」は旧岩波文庫版では「藝術」とあり、新岩波文庫版では「術芸」とある（振り仮名無し）。

10 「摧破—破碎」

「摧」は「碎」と同じく、くだく、くだける、の意であるので逆字順のセットとして扱った。

11 「災厄—厄災」

「厄」は「厄」とも書かれる（「災厄」は西国八・二〇15オ、品行二・二五20ウに見られる）。

12 「柔軟—軟柔」

「柔軟」は、J・C・ヘボンの『和英語林集成』三版（初版・再版には未立項）によると、ジウナン、ニウナンの両方がみとめられる。『西国立志編』には「柔軟」はしばしば用いられているが、「柔」に読みは付していない。しかし、『西洋品行論』に「柔軟」（九・二五22ウ）とあり、岩崎茂実編『新撰字解』（明治七年刊）に「柔軟ヤハラグ」とあるのを参考にしてジウウ（ジウ）ナンとして扱った。

「軟」の漢字について見ると「西国一三・三五30オ」「品行一・二〇21ウ」には「輓」とあり、こちらが本字である。「軟」「輓」はナンが慣用音で、漢音ではゼンである。『西国立志編』には振り仮名が付いている二例ともナンであるが、『西洋品行論』ではゼンと読んでいる。逆字順語形「軟柔」（品行九・二四20ウ）もゼンである。『西洋品行論』では振り仮名のある場合は「柔軟」をはじめ、「軟弱」（一二・二三44オ）、「軟熟」（八・一一9オ）、「軟和」（八・三五26ウ）などの「軟」もゼンである。

さて、次のような事例はどう考えるべきであろうか。

『西国立志編』九編一九章に、

事務ハ譬^ヘバ軍行ノ如シ。モシ^{サキキテ}前隊ノ兵、俄^カニ阻礙セラル、^{サキキテ}「アリテ、軍行ノ常度ヲ変ジナバ、後陣ハ必ズ混乱スベシ。(13オ)

のように「軍行」が二例見られるが、前者の例の左側にはキヨウゲンとある。右側に振り仮名はないが、「軍行」はゲンコウと読むものであろう。「軍行」は軍隊を進めることであるが、字順が逆である「行軍」もこれと同じ意味である。前者の振り仮名はギョウゲンと⁽²⁾考えられるので、漢語本体「軍行」と振り仮名ギョウゲンとはシノニムの関係にある逆字順漢語の事例と考えることができる。

「行軍」はコウゲンがふつうかと思われるが、ギョウゲンと読む例は『日本国語大辞典』二版には中山忠親『貴嶺問答』に、

勲功賞事。軍防令曰。行軍^{キギ}叙^セ勲。

とある例のほか、『西国立志編』のこの例があげてある。

四

シノニムの関係にある逆字順二字漢語の各セットについて日本語史的観点からの整理をふまえて、AB・BAの消長や今日に至るまでの状況（共存や廃滅までの道筋）を明らかにすることを筆者は心掛けてきたが、明らかにしえたものはそう多くない。

ところで、中国語において順序が入れ替っても意味が変わらない複合語の並列構造が声調（四声）と深く関わっ

ていることが、近年（一九七〇年代以降）の中国語学分野の研究で明らかになった。⁽³⁾

中国語で明らかになった構成順序の原則で日本語のA・B・B・Aを験するとどういふ結果が得られるのであろうか。また、A・B・B・A語形に限ったことではないが、近代における日本語と中国語の造語の仕組みとその異同、影響関係等⁽⁴⁾究明すべき問題が少なくない。

なお、松原朗氏（専修大学文学部教授）には〈複合語の並列構造と声調（四声の前後）との関係〉について、多くの御教示をいただいたことに謝意を表す。

注

- (1) 中村幸彦編『近白話小説翻訳集』一一（汲古書院）所収。
- (2) 柳田泉校訂『西国立志編』（富山房、昭和一三年七月発行）ではギョウケンとある。
- (3) 荒川清秀「健康」の語源をめぐって『文学語学』一六六号、二〇〇〇・三。
- (4) 荒川清秀「近代日中の訳語の創造と受容」（日本語学会二〇一一年度秋季大会〈於…高知大学〉の「シンポジウム〈近代語研究の方法と資料〉」の資料。なお、シンポジウム報告が『日本語の研究』8巻2号（二〇一一・四）に掲載されている。